

## 8 第三者評価を受けての感想

今回で2回目の第三者評価受審となりましたが、前回受審した際は、常盤会の標準的な取り組みをベースとした状態での受審でありました。今回は1回目の受審以降、施設が取り組み積み上げてきた、しろやまの風らしさ、独自性、先進的取り組みをはじめ、根底に流れるノウハウをどれだけ評価していただけるかが大きな関心事でした。

全職員で試行錯誤しながら手探りで作り上げてきた部分を評価されたことは大変嬉しく思いますし、職員の大きな励みにもなりました。一方で、評価者に共感してもらえなかった項目や、旧法の利用者を現法制度や介護保険への移行作業と家族アンケートが重なる等、プレゼンテーションの拙さから反省箇所もありました。

今回から、評価項目が新基準に変更となったことで対応にも苦慮しましたが、新たに取り組むべき課題も見えてきました。早速いただいた評価結果を基に、改善と検証をしっかりと行い、利用者の方々や地域に愛される施設づくりを進めて参りたいと思います。